

第Ⅳ期中期経営計画 評価指標①

1 医療の質の向上

1-1 急性期・高度医療の充実	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	目標値	評価
○ 評価指標									
1 手術患者数(全身麻酔)及び医療圏内におけるシェア率	1,556 23.5%	1,655 25.0%	1,571 24.8%	1,512 24.8%	1,483 25.0%	1,459 23.9%	- -	23%以上	○全身麻酔による手術の医療圏内シェア率は現時点で未公表のためR2実績は未記載 R1実績について、手術患者数はH28年度以降減少しており、シェア率も前年度と比べ減少したが目標値を上回った。
2 がんによる入院患者の医療圏内におけるシェア率	19.0%	23.9%	25.5%	22.6%	18.0%	16.0%	14.8%	20%以上	○新規入院がん患者数が、前年比で減少したことに伴い、シェア率も減少した。引き続き手術や放射線治療、化学療法等に注力し、シェア率向上に努める。
3 在宅復帰率	91.9%	92.7%	89.8%	89.8%	90.7%	90.4%	89.6%	80%以上	○各病棟に退院支援看護師を配置し、入院早期から後方支援病院等との連携による退院調整を実施することで、在宅復帰率の向上に努めている。

1-2 安全・安心・納得の医療提供

○ 評価指標									
1 退院後6週間以内の再入院率	5.5%	5.2%	5.9%	5.5%	5.5%	5.0%	5.1%	5.2%以下	○R2は目標値を達成した。今後もより一層、初回入院での質の高い医療の提供に努めていく。
2 褥瘡発生率 (新規褥瘡発生件数/延入院患者数)	1.28%	1.27%	1.75%	1.50%	1.40%	1.10%	1.10%	1.4%以下	○通常の褥瘡対策に加えて、看護師の褥瘡対策チームによるラウンド実施等の取り組みにより、前年度に引き続き目標値を達成した。
3 転倒・転落発生率及び負傷率 (転倒・転落発生件数/延入院患者数)	1.07‰ 0.03‰	1.29‰ 0.00‰	1.47‰ 0.08‰	1.65‰ 0.01‰	2.10‰ 0.02‰	2.51‰ 0.04‰	2.53‰ 0.13‰	2.52‰以下 0.05‰以下	○R2の転倒・転落発生率は、できるだけ抑制をしない取り組みの結果、わずかに目標を達成できなかった。負傷率は、入院患者に占める高齢者患者の割合が増えたことにより、増加したと考えられる。今後は、入院前からの患者の筋力向上や、早期からのせん妄予防、適正な抑制、認知症ラウンド等を通して、転倒転落の発生を抑えていく。

1-3 地域に根差した医療の提供

○ 評価指標									
1 紹介率	25.4%	31.3%	34.6%	41.5%	63.5%	68.5%	70.6%	50%以上	○R2の紹介率及び逆紹介率は、地域医療支援病院としての要件である目標値を超えた。今後は逆紹介率100%超えを目指し、紹介患者数の増加を図り、新規入院患者の獲得、収益の確保にもつなげていく。
2 逆紹介率	34.3%	42.8%	48.1%	56.8%	92.3%	97.4%	90.4%	70%以上	

第Ⅳ期中期経営計画 評価指標②

2 経営の安定

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R2 目標値	評価
評価指標									
1 医業収支比率 (医業収益/医業費用)	90.4	93.1	94.3	96.2	97.0	95.2	86.1	98.4	<p>【医業収支比率】【経常収支比率】</p> <p>○収益面では、患者一人一日あたり診療単価は増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、紹介患者等が減少したことにより、入院収益及び外来収益ともに減少した。しかし、新型コロナ対応に係る補助金等を計上したことにより、経常収益は増加した。</p> <p>○費用面では、患者数の減少に伴う材料費の減少や退職職員の減少に伴う給与費の減少の一方で、新型コロナ対応に係る修繕の実施や検査委託の増加等による経費の増加や特別償却の実施に伴う減価償却費の増加により、費用は増大した。</p>
2 経常収支比率 (経常収益/経常費用)	94.3	96.9	98.6	101.0	101.6	100.1	107.0	100.8	<p>結果、経常利益を計上し、H29年度から続く黒字決算となり、経常収支比率は上昇したものの、医業収支比率は前年度から大幅に悪化した。医業収益の回復を目指し、紹介・逆紹介の推進による実入院患者の確保や医療の質向上、診療単価の増加に繋がる医療提供体制の構築に取り組むとともに、医業費用の削減にも継続的に取り組んでまいる。</p>
3 材料費比率 (材料費/医業収益)	22.7	23.2	23.3	24.5	23.4	22.5	22.5	23.2	<p>○患者数の減少に伴い、医業収益及び材料費ともに減少した。感染対策に係る病院負担の材料費が増えたが、材料費率としては、R1と同水準になり、目標を達成した。引き続き、ベンチマークの活用や価格交渉などにより、材料費のさらなる節減を目指していく。</p>
4 月平均実入院患者数	644	673	689	675	663	639	541	703	<p>○月平均実入院患者数については、新型コロナの影響により大きく減少し、目標達成には至らなかった。引き続き、診療科別の患者数指標値設定、毎月の結果のフィードバックの他、医師の確保、紹介患者数の増加にも注力し、新規入院患者の回復に取り組む。</p>